

中心市街地活性化基本計画の令和3年度の推進状況について

令和4年5月 会津若松市

1 中心市街地全体の概況

○ 令和3年度終了時点（令和4年3月31日時点）の概況

基本計画に位置付けた事業の進捗状況は、全64事業（再掲を除く。）のうち13事業が完了、49事業が実施中であり、概ね順調に進んでいる。

神明通り商店街のアーケードや七日町通りの電線類地中化等をはじめ、大町通りの歩道美化、歴史ある建築物の再生・活用、各通りに整備されたコミュニティ拠点など、まち歩きや滞在を楽しむ環境が整ってきている。

また、市民協働事業として実施した、ブロック塀の板塀化や植樹などの通りの景観づくり、イベント等を通して、市民、商店街、関係団体等の多様な主体が、まちなかの賑わいづくりに参画するきっかけとなっており、今後も実施体制や事業の見直しを行いながら、自主的に活動する人材の育成につながる事業として期待される。

中心市街地に整備された「スマートシティA i C T」の入居企業と商店街等との連携による新たな取組も計画され、市役所庁舎整備や会津若松駅前整備、商店街等におけるソフト事業など、新規事業も進行している。

一方で、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛等により、飲食業や観光関連産業など、地域経済に深刻な影響があったことから、市では、市内経済の回復に向け、事業者への支援を行った。

今後も、少子高齢化や人口減少社会は既に到来している中で、地域の持続性への対応が求められるなど、中心市街地を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。これまで維持してきた中心市街地の機能を持続していくためには、まちに関わる人々が目線を合わせながら、活性化に向けて効果的で効率的に課題を解決していく必要がある。

【中心市街地に関する人口データ】

（基準日：毎年度1月1日 単位：人）

| （中心市街地 地域） | H26 （前年度） | H27 （1年目） | H28 （2年目） | H29 （3年目） | H30 （4年目） | R元 （5年目） | R2 （6年目） | R3 （7年目） |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 人口 | 10,612 | 10,535 | 10,292 | 10,182 | 10,089 | 9,979 | 9,952 | 9,816 |
| 人口増減数 | ▲299 | ▲77 | ▲243 | ▲110 | ▲93 | ▲110 | ▲27 | ▲136 |
| 自然増減数 | ▲71 | ▲84 | ▲106 | ▲106 | ▲95 | ▲99 | ▲110 | ▲103 |
| 社会増減数 | 11 | ▲53 | ▲63 | 4 | ▲91 | ▲93 | ▲3 | ▲60 |
| 転入者数 | 426 | 416 | 373 | 388 | 392 | 395 | 350 | 351 |

※ 住民基本台帳の該当年度内の1月1日を基準日としている。（R3の基準日：R4.1.1）

※ 人口・自然・社会増減数、転入者数は、当該年度内の基準日までの1年間の増減数を掲載。

（令和3年度の場合、令和3年1月1日から12月31日まで）

※ 職権消除などを含むため、社会増減数+自然増減数=人口増減数とはならない。

2 目標達成の見通し

| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 目標値 | 最新値 | 達成状況 |
|-----------------------|------------------------|---------------------|--------------------|-------------------------------|------|
| 1 商機能の向上 | 新規出店者数 (過去5年平均) | 8.8件 (H26) | 13.6件 (R4) | 18.8件 (R3) | A |
| 2 交流人口の拡大 | 歩行者通行量 (平日と休日の加重平均) | 26,151人/日 (H26) | 27,675人/日 (R4) | 24,162人/日※ (R元) (R2以降調査中止) | C |
| 3 まちなかにおける市民による活動量の増加 | 活動拠点施設 利用者数 | 512,179人/年 (H24) | 530,233人/年 (R4) | 340,411人/年 ※ (R3) | C |

(基準値からの改善状況) A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

(※) 歩行者通行量は調査方法の見直しにより、また、活動拠点施設利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により状況が大幅に変更したことから、過去のデータとの比較が困難であるため、参考値として記載

(上記の理由)

① 商機能の向上について

新規出店者数については、コロナ禍の中で前年度と比較して増加した。コロナ禍でも対応可能な業種（小売、テイクアウト等）や、経済活動の再開を見据えた出店などが考えられる。

今後も引き続き「空き店舗対策事業」や「創業支援事業」等により、事業者の新規出店を後押しすることで、一定の新規出店者数は期待され、目標達成は可能と見込まれる。

② 交流人口の拡大について

令和元年度まで指標としていた「歩行者通行量」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、来街者数の減少が予想されたため、過去のデータとの比較が困難と判断し、令和2年度の調査を中止した。

なお、令和3年度はこれまでの調査方法を見直し、会津若松市中心市街地活性化協議会において、携帯キャリア会社が持つ契約者の位置情報から滞在人口や人流を調査した。

③ まちなかにおける市民による活動量の増加について

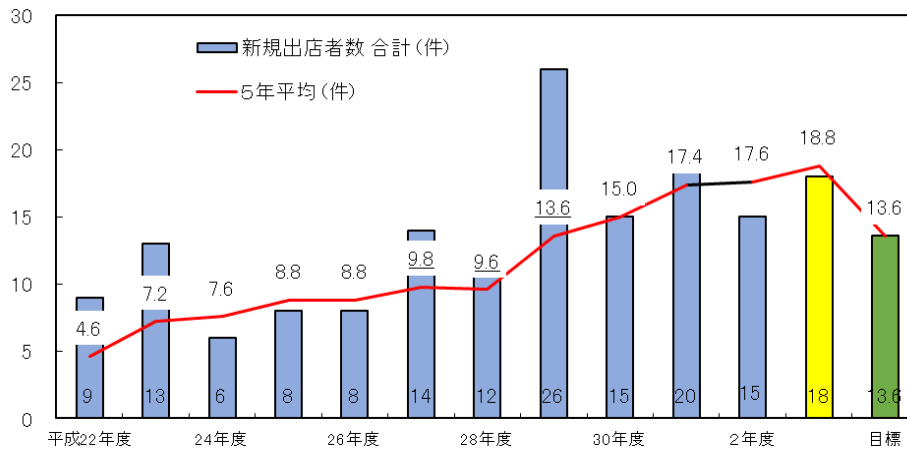
既存公共施設の利用者数については、利用が一定程度落ち着いてきたことなどの理由から推計値と大きな差があり、目標達成は厳しい状況にあった。

特に令和2年度からは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出や大人数での活動自粛等により、利用者数が大幅に減少し、令和3年度は前年と比較し若干増加したものの、過去のデータとの比較が困難であると判断したため、参考値として記載した。

(目標指標毎の結果の推移)

「新規出店者数」※ 目標設定の考え方基本計画 P63～P66 参照

●調査結果の推移



| 年 | (件) |
|-----------|---------------|
| H26 | 8.8 (基準年値) |
| H27 | 9.8 |
| H28 | 9.6 |
| H29 | 13.6 |
| H30 | 15.0 |
| R元 | 17.4 |
| R2 | 17.6 |
| R3 | 18.8 |
| R4 | 13.6 (目標値) |

※ 調査方法：毎年度3月末日時点での数値を関係機関等に照会

※ 調査月：令和4年4月

※ 調査主体：会津若松市

※ 調査対象：中心市街地内への新規出店者数

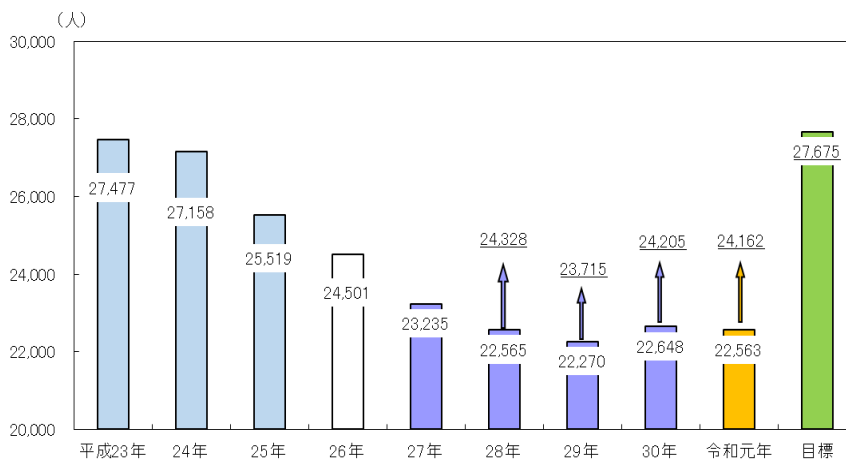
「歩行者通行量」※ 目標設定の考え方基本計画 P67～P74 参照

●調査結果の推移

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査中止

※ 令和3年度から調査方法の見直し（移動動態調査へ）

※ 参考として、過去のデータを記載。



| 年 | (人/日) |
|-----|------------------|
| H26 | 26,151 (基準年値) |
| H27 | 25,129 |
| H28 | 24,328 |
| H29 | 23,715 |
| H30 | 24,205 |
| R元 | 24,162 |
| R2 | 調査中止 |
| R3 | — |
| R4 | 27,675 (目標値) |

※ 調査方法：中心市街地 15 か所、平日と休日の各 1 日、12 時間連続調査

※ 調査月：令和元年7月（最終調査）

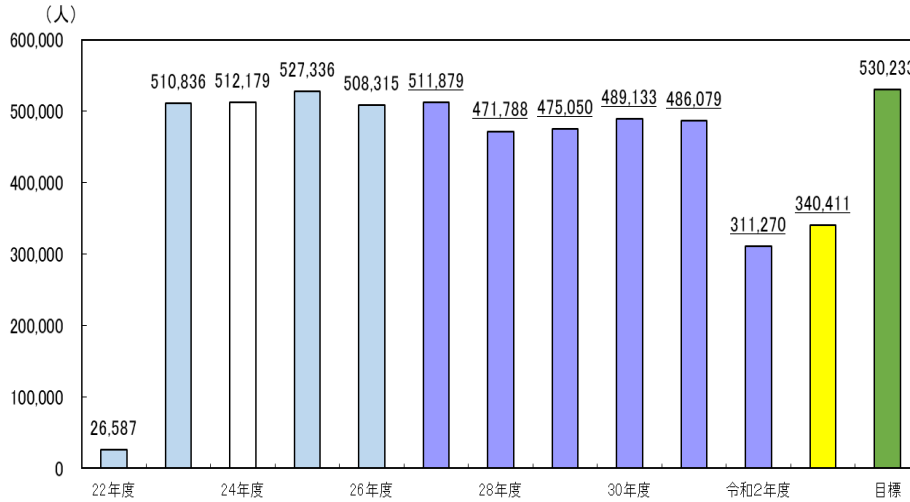
※ 調査主体：会津若松市

※ 調査対象：歩行者数（自転車含む）

「活動拠点施設利用者数」※ 目標設定の考え方基本計画 P75～P78 参照

● 調査結果の推移

※ 令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、過去のデータとの比較が困難であるため、参考値として記載。



| 年 | (人/年) |
|------------|--------------------|
| H24 | 512,179 (基準年値) |
| H27 | 511,879 |
| H28 | 471,788 |
| H29 | 475,050 |
| H30 | 489,133 |
| R元 | 486,079 |
| R 2 | (※)311,270 |
| R 3 | (※) 340,411 |
| R 4 | 530,233 (目標値) |

※ 調査方法：毎年度3月末日時点での数値を関係機関等に照会

※ 調査月：令和4年4月

※ 調査主体：会津若松市

※ 調査対象：既存の主要な活動拠点施設及び新たに整備された施設の利用者数